

# 亘理町立郷土資料館年報

第17号  
(平成26年度)



悠里館全景

亘理町立郷土資料館

宮城県亘理郡亘理町字西郷 140 番地

電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709

E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

## はじめに

平成26年度、亘理町立郷土資料館は開館して20周年を迎えました。

多くの被害をもたらした東日本大震災から3年が経過しました。郷土資料館の運営も落ち着きを取り戻し、来館される方々も日常的に観光や学習を目的とされる方が増えてきたようです。

そのようななか、企画展「東日本大震災と救い出された資料」では、震災が起きた時亘理町では何が起こり、どのような状況になり、人々はどのように行動したのかをまとめた展示を行いました。同時に、震災により被災した家屋からレスキューされた歴史・文化を伝える上で貴重な資料を展示し、震災と地域文化について見てみる機会としました。

年度の後半に開催しているテーマ展は、企画展の開催時期が遅れ、テーマ展の開催時期と重なってしまったため行いませんでした。常設展示においては、24年度から行っている「おひなさま無料観覧日」を継続し、期間限定で公開している亘理伊達家の雛人形をとおして亘理伊達家の歴史に触れていただきました。また、広報紙「郷土しりょうかん」の新着資料紹介と連動した展示の変更を引き続き行い、常設展示に変化をもたせました。

教育普及事業では、例年通り5月5日こどもの日に「Go・Go 悠里館まつり」を開催し、常設展示を無料開放しました。また、定番の夏休み子ども講座での勾玉作りや年中行事講座でのおひなさま作りも好評でした。年度末に実施している町民講座「ものしり大学院」は、4名の講師・コメンテーターの方をお呼びし、「亘理伊達家」をテーマとした内容で行いました。亘理伊達家並びに家臣団について調査で得た新たな情報を公開し、関心を高めるとともに、町内から新たな資料の発見に繋がるような講座としました。

郷土資料館は、亘理町の歴史や絶え間なく受け継がれてきた人々の暮らしぶりを伝え、よりよい未来を作るための一助となるためにも、資料収集や調査・研究を重ねるのは勿論のこと、成果をより多くの人々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んで参りたいと考えております。どうか今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成26年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成27年7月

亘理町立郷土資料館長

宍戸由美

# 目 次

1	平成26年度の主な事業と活動	3
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	4
	〔2〕 事務分掌	4
3	展 示	
	〔1〕 常設展示	5
	〔2〕 企画展示	5
4	無料開放事業	
	〔1〕 「どこでもパスポート」事業	7
	〔2〕 こどもの日・文化の日・ひなまつり展示室無料開放	10
5	教育・普及	
	〔1〕 講 座 等	11
	〔2〕 学社融合推進事業 「移動しりょうかん」	13
	〔3〕 こども祭り「Go・Go悠里館まつり」	16
	〔4〕 「オープンミュージアム」	17
	〔5〕 学校教育関連	17
	〔6〕 刊行物等	18
	〔7〕 博物館実習	18
	〔8〕 そ の 他	19
6	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	20
	〔2〕 寄託資料	21
	〔3〕 常設展示借用資料	21
	〔4〕 資料の貸出	21
7	観覧者数の推移	
	〔1〕 平成26年度月別観覧者数	22
	〔2〕 年度別観覧者数	22
8	予 算	23
9	職員名簿	23
10	利用案内	23

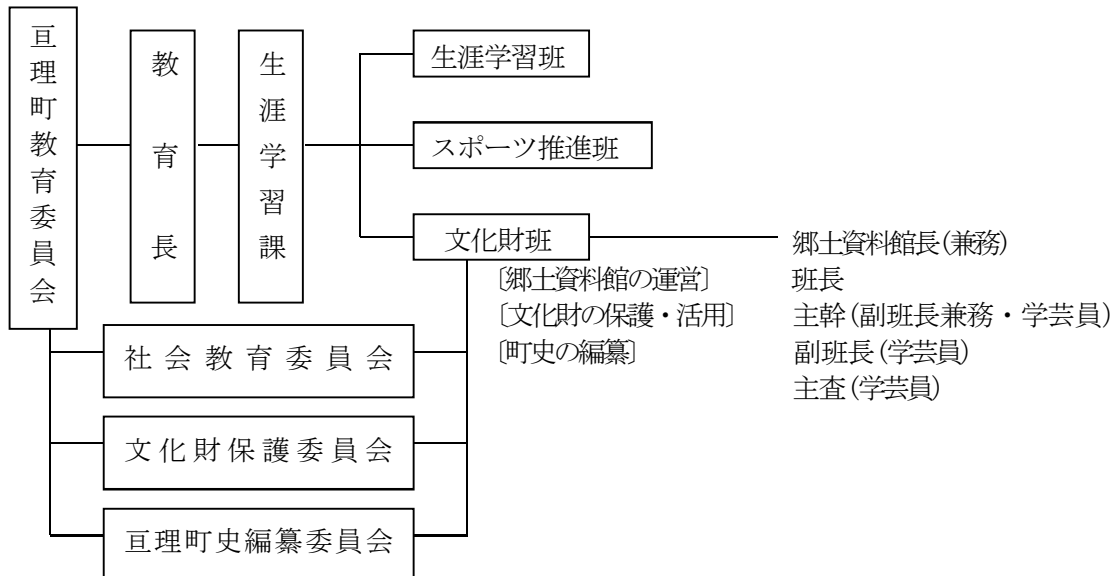
## 1 平成26年度の主な事業と活動

26. 4 広報紙「郷土しりょうかん」第116号発行  
5/5 Go・Go悠里館まつり  
5/28 宮城県南資料館等連絡協議会 総会(山元町)  
6 広報紙「郷土しりょうかん」第117号発行  
6/27 宮城県博物館等連絡協議会 総会・第1回研修会(多賀城市)  
7/19~8/24 郷土資料館「ちょこっと体験」  
8 広報紙「郷土しりょうかん」第118号発行  
8/19~26 博物館実務実習  
8/23 夏休み子ども講座「勾玉を作ってみよう」  
9/17 学社融合推進事業「社会科 身近な地域の歴史」学芸員派遣(逢隈小学校)  
10 広報紙「郷土しりょうかん」第119号発行  
10/22 学社融合推進事業「総合的な学習 学校周辺の遺跡について」学芸員派遣  
(吉田小学校)  
11/3 文化の日記念 オープンミュージアム  
11/18 宮城県南資料館等連絡協議会 第1回役員会(柴田町)  
11/21 学社融合推進事業「互理用水学習会」資料貸出と学芸員派遣(亶理小学校)  
12 広報紙「郷土しりょうかん」第120号発行
27. 1/22 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(逢隈小学校)  
1/27 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(亶理小学校)  
1/30 宮城県南資料館等連絡協議会 担当者研修会(柴田町)  
2 広報紙「郷土しりょうかん」第121号発行  
2/6 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(長瀬小学校)  
2/25 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(荒浜小学校)  
2/14~3/29 企画展「東日本大震災と救い出された資料」  
2/19~3/3 亶理伊達家雛人形公開  
2/19 宮城県博物館等連絡協議会 第2回研修会(多賀城市)  
2/21 年中行事講座「おひなさまを作ろう」  
3/3 学社融合推進事業「移動しりょうかん出前学習」(高屋小学校)  
3/3 おひなさま無料観覧日  
3/7 町民講座「ものしり大学院」「亶理伊達家文書の世界」  
3/24 宮城県南資料館等連絡協議会 第2回役員会(柴田町)  
3/29 企画展「東日本大震災と救い出された資料」解説会

## 2 組織・運営

### 〔1〕 組織図・職員構成

平成26年7月1日現在

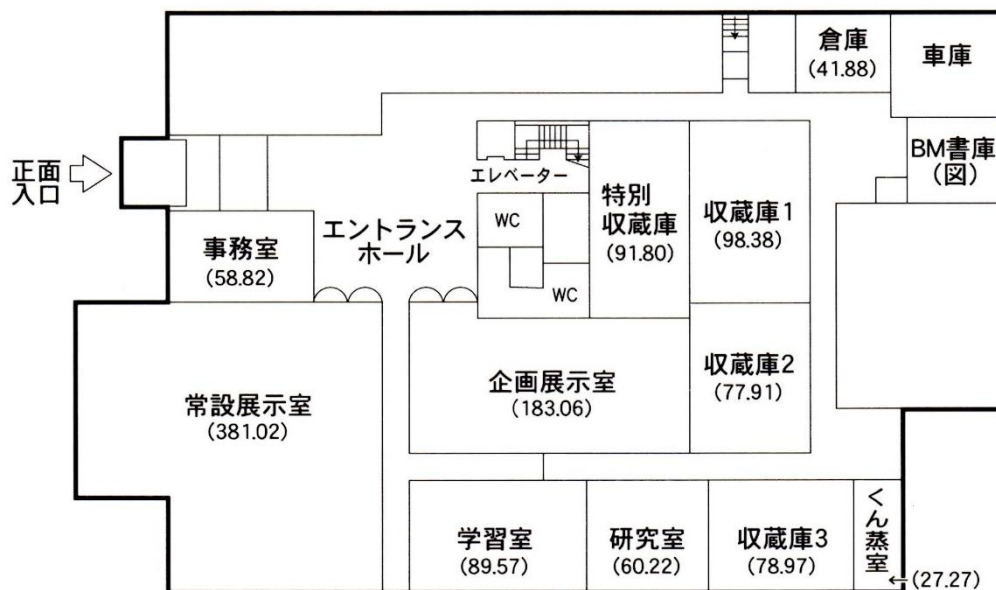


### 〔2〕 事務分掌

文化財班（郷土資料館）

……………管理運営・運営審議会・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営。

### 資料館平面図



※ ( ) 内は面積、単位は㎡

### 3 展 示

#### 〔1〕 常設展示

##### 1. 新着資料コーナー

常設展示の「プロローグ」「考古」「歴史」「亙理伊達家」「民俗」「シアター」「検索システム」に、広報紙「郷土しりょうかん」（年6回偶数月発行）の表紙で紹介した新着資料を展示するコーナーを「歴史」と「民俗」のコーナー間に設け、資料6点を入れ替えて展示した。

資料名	展示期間	資料名	展示期間
鹿島小学校教科書	H26. 4. 26～6. 26	亙理町通俗図書館蔵書	H26. 11. 1～12. 25
バリカン	H26. 6. 28～8. 28	感謝状	H26. 12. 27～H27. 2. 26
東北博記録	H26. 8. 30～10. 30	卒業記念写真	H27. 2. 28～4. 23

##### 2. 亙理伊達家雛人形公開

期 間 平成27年2月19日(木)～3月3日(火)

場 所 亙理伊達家コーナー

資 料 石川家伝来亙理伊達家古今雛一對、掛袱紗1点、婚礼調度品6点を仙道人取橋御合戦之図と入れ替えて展示した。

雛人形由来 亙理伊達家には十四代亙理領主邦成の義母貞操院（十三代仙台藩主伊達慶邦の妹・保子）の婚礼調度品と伝えられる雛飾りがあり、これらの雛人形は亙理伊達家が家中と共に北海道に開拓移住する際にも貞操院様の愛用品として大切にされ海を渡った。ほとんどの雛飾りは伊達市に寄贈され、市の開拓記念館に展示されているが、伊達家と邦成公の3人の息女にも伝えられた雛飾りがあった。平成13年、邦成公の三女佑子氏が嫁入り道具として持参した雛人形が、婚家の石川家から亙理伊達家に約90年ぶりに里帰りした。翌14年、初代亙理領主成実公が亙理入府400年になるのを記念して、亙理伊達家と石川家の好意により郷土資料館に寄贈され、以来3月3日のひなまつりに合わせて公開している。



展示の様子

#### 〔2〕 企画展示

##### 「東日本大震災と救い出された資料」

会 期 平成27年2月14日(土)～3月29日(日)

開催日数 35日間

観覧者数 1,755人// 一日平均51人

観 覧 料 一般100円/高校生50円/小中学生無料(20人以上の団体は各70円、30円)

\*常設展示観覧者は無料



## 【趣 旨】

東日本大震災の発生から4年の月日が経過していた。亶理町では復興事業が本格化し、大掛かりな工事や作業が行われていて、震災の傷跡が小さくならうとしている。しかし、震災は後世に伝えるべき出来事であり、あの時何が起こり、どのような状況になり、人々はどのように行動したのかをまとめる必要があった。そこで、東日本大震災における亶理町の状況についてまとめる展示を行うこととした。また、震災では町内に残る貴重な文化財や資料が被災しており、そのレスキュー活動とその後の整理が行われた。震災で失われかけた歴史・文化を伝える資料を展示し、震災と地域文化について見てみる機会とした。

## 【展示内容】

### ◎シンボル展示 「塩釜神社旧神輿(鳥屋崎地区)」

津波被害が大きかった鳥屋崎地区は、江戸時代には製塩で栄えたところで、その象徴となったのが塩釜神社であった。製塩をやめてからもこの神社は地区住民に大切に守られてきたが、震災で津波を被り、神輿が破損してしまった。震災ではこうした地区の大切な宝が被害を受けたということを伝える象徴的な資料として展示した。



塩釜神社旧神輿

### コーナー1 「東日本大震災と亶理町」

東日本大震災において亶理町は沿岸部を中心に甚大な被害を受けた。震災の様子と被害、復興状況について解説パネルや写真パネルなどを使って展開した。また、亶理町の文化財被害についても紹介した。

#### ① 「東日本大震災の被害」

東日本大震災における亶理町の被害(人的被害、建築物被害、農業被害、漁業被害、交通被害、文化財被害、その他)について解説した。また、避難や復旧についての解説も加えた。

※展示資料 … 震災被害解説パネル、震災状況写真パネル、文化財被害解説・写真パネル、避難所関係資料、震災後数日間の新聞・広報わたり臨時号ほか



震災状況写真パネル

#### ② 「亶理町の復興」

東日本大震災からの復興について、亶理町はどのように復興を進めているのかを解説した。

※展示資料 … 復興計画解説パネル、復興状況写真パネル

### コーナー2 「救い出された町場の民具類」

古い商家が立ち並ぶ亶理地区では地震による被害が大きく、修理が困難になった明治から昭和初期の建築物が次々と壊されていった。取り壊す前に郷土資料館へ資料の提供を寄せた4件の事例を紹介し、救い出した資料を公開した。

※展示資料 … 旧武田薬局資料、中正旅館旧館資料、五日町鈴木家資料、旧す屋支店資料」

### コーナー3 「救い出された武者家の資料」

武者家は江戸時代に浦役人を勤めた由緒ある家である。明治時代以降は村の名士として村の発展に尽力した。なかでも武者惣十郎氏は江戸清吉氏とともに貴重な資料を収集したことで知られている。ここでは、武者家の由緒とコレクションを紹介し、荒浜の歴史に触れた。

※展示資料 … 武者家コレクション、武者家文書



武者家資料

### テーマ4 「救い出された江戸家の資料」

江戸家からレスキューした資料のうち、四代江戸清吉氏が収集したコレクション品は明治から昭和初期にかけて活躍した作家、文筆家、芸術家の作品や書簡、はがきなど多岐にわたり、貴重なものばかりである。このコレクションから一部作品を紹介し、レスキュー事業の意義について考えた。

※展示資料 … 江戸清吉コレクション解説パネル、江戸清吉コレクションの一部(夏目漱石・森鷗外・芥川龍之介ほか作家原稿、齋藤茂吉・石川啄木ほか書簡、はがき、竹久夢二ほか美術作品)



江戸家資料

## 4 無料開放事業

### 〔1〕 「どこでもパスポート」事業

平成14年4月から学校週5日制の完全実施に伴い、仙台都市圏を構成する14市町村立の社会教育施設を、仙台都市圏内の小中学生に無料開放する「どこでもパスポート」事業が始まり、当資料館も対象施設として、これまで町内の小中学生を対象に第2・第4土曜日に実施していた展示室の無料解放を、毎週土・日曜日、春休み・夏休み・冬休みの長期休業日期間中に変更した。平成18年度からは「どこでもパスポート」実施要綱が改正されたのに伴い、どこでもパスポートの利用対象日を開館日の全てに変更した。

加えて、どこでもパスポート事業開始後、仙台都市圏外の地域でも同様の事業が開始され、平成15年度からは仙南地域広域圏内、16年度からは石巻広域圏内、大崎広域圏内、登米広域圏内(現登米市圏)、17年度からは気仙沼・本吉地域広域圏、18年度からは栗原市圏の小中学生に対しても同様に展示室の無料開放を開始した。同時に仙台都市圏内の小中学生も「どこでもパスポート」を提示することで、仙南地域・石巻・大崎広域圏内、登米市圏、気仙沼・本吉地域広域圏、栗原市圏の指定施設を無料で利用できるようになった。

#### ◆仙台都市圏14市町村

仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・亘理町・山元町・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・富谷町・大衡村

#### ◆仙南地域広域圏9市町「AZ9パスポート」

白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町



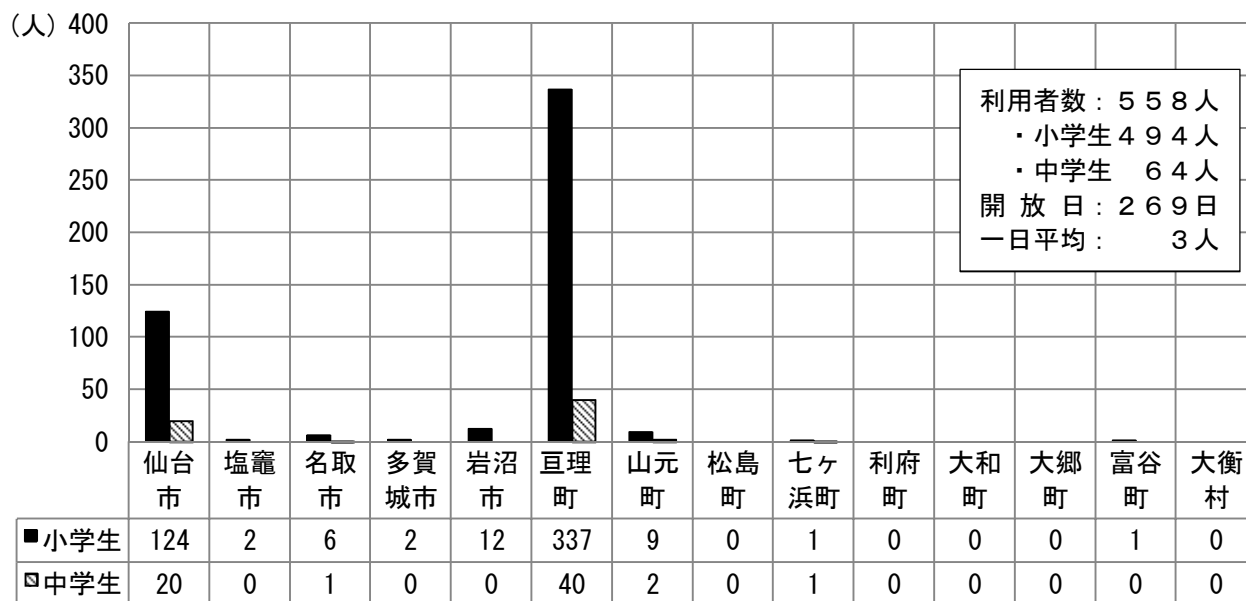
- ◆石巻広域圏3市町「ゆうゆうパスポート」  
石巻市・東松島市・女川町
- ◆大崎広域圏5市町「大崎ゆめっこパスポート」  
大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町
- ◆登米市「ジュニアパスポート」
- ◆気仙沼・本吉地域広域圏4市町「フリーパスポート」  
気仙沼市・南三陸町・本吉町・唐桑町
- ◆栗原市「くりはらグリーンパスポート」

仙台都市圏等小中学生対象施設

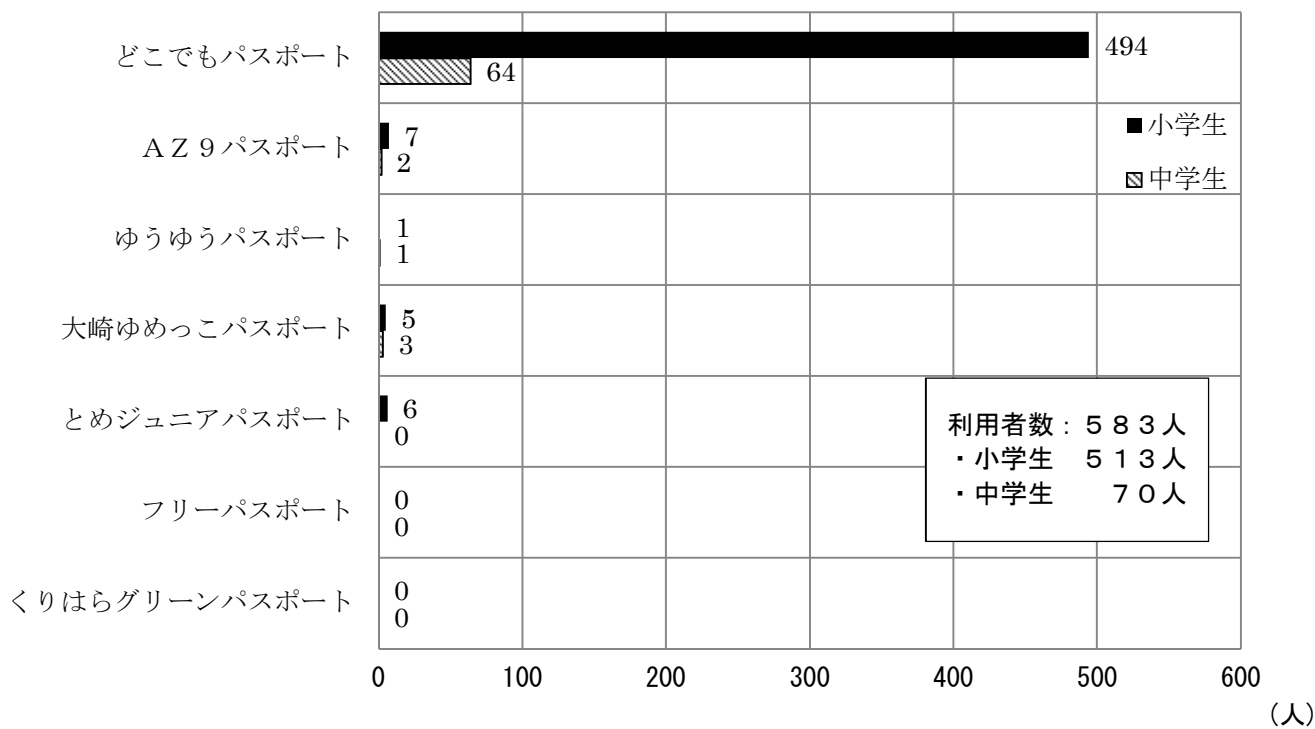
市町村名	施設名	市町村名	施設名
仙台市	博物館、科学館、天文台、縄文の森広場、歴史民俗資料館、富沢遺跡保存館、	亘理町	郷土資料館
仙台市	八木山動物公園、野草園、秋保大滝植物園、仙台文学館、戦災復興記念館資料展示室、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、宮城県美術館、東北大学理学部自然史標本館、東北大学植物園	山元町	歴史民俗資料館
		松島町	観瀾亭松島博物館、自然植物園福浦島
		大和町	原阿佐緒記念館、宮床宝蔵、七ッ森陶芸体験館
		大衡村	ふるさと美術館
		角田市	スペースタワー・コスモハウス
白石市	白石城、白石城歴史探訪ミュージアム、片倉家中武家屋敷「旧小関家」	七ヶ宿町	水と歴史の館
蔵王町	みやぎ蔵王こけし館、宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター	村田町	野外活動センター
丸森町	蔵の郷土館・齋理屋敷	登米市	教育資料館、登米懐古館、水沢県庁記念館、警察資料館、伝統芸能伝承館森舞台、不老仙館(登米市民俗資料館)、石ノ森章太郎ふるさと記念館、チャチャワールドいしこし、高倉勝子美術館「桜小路」
石巻市	石ノ森萬画館、国指定名勝「齋藤氏庭園」、民俗資料館・天保の家		
東松島市	奥松島縄文村歴史資料館		
大崎市	吉野作造記念館、大崎生涯学習センタープラネタリウム館、松山ふるさと歴史館、松山酒ミュージアム、鎌田記念ホール(鎌田三之助展示室)		
加美町	宗左近記念縄文芸術館、芹沢長介記念東北陶磁文化館、墨雪墨絵美術館、切込焼記念館	気仙沼市	リアス・アーク美術館
涌谷町	史料館、くがね創庫	南三陸町	ひころの里
		栗原市	白鳥省吾記念館、山王考古館、一迫埋蔵文化財センター、細倉鉦山資料館、金成歴史民俗資料館、仙台藩花山村寒湯番所跡、剣豪・千葉周作ゆかりの家狐雲屋敷(旧佐藤家住宅)

\*だれでも無料の施設は除く

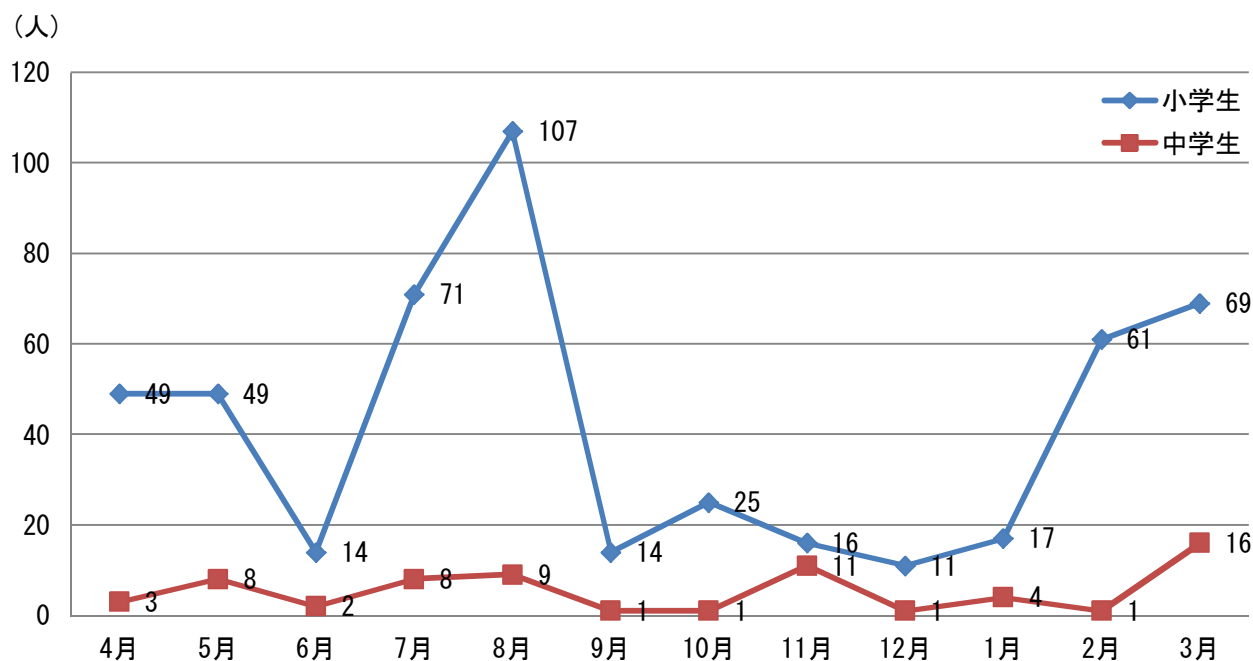
「どこでもパスポート」市町村別利用者数



パスポート別利用者数



「どこでもパスポート」ほか各種パスポート月別利用者数



〔2〕 こどもの日・文化の日・ひなまつり展示室無料開放

亙理の歴史や文化などについて広く普及を図るため、平成9年度からこどもの日(5月5日)と文化の日(11月3日)に展示室を終日無料開放しており、加えて平成24年度からは3月3日のひなまつりにも展示室を終日無料開放した。

1. 5月5日(月)

子どもの健やかな成長を願い、心のふれあいと元気なまちづくりをめざして開催した「Go・Go 悠里館まつり」事業の一環として、常設展の観覧を無料とした。

観覧者数：186人(一般116人、小中学生70人)

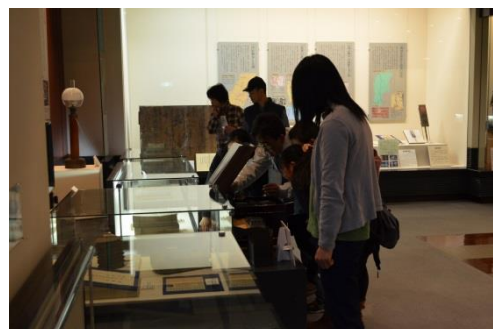


常設展見学の様子

2. 11月3日(月)

亙理の歴史や文化についての普及と、郷土資料館の利用促進を図り開催した「オープンミュージアム」事業と「東北文化の日」推進事業の一環として、常設展の観覧を無料とした。

観覧者数：278人(一般218人、小中学生60人)



常設展見学の様子

### 3. 3月3日(火)

平成14年に伊達成実公入府400年を記念して亙理伊達、仙台石川両家から寄贈された亙理伊達家の雛人形を、より多くの方々に由来を知って観賞してもらおうとともに、年中行事ひなまつりの意義の普及を図り常設展の観覧を無料とした。

観覧者数：154人(一般・154人)



亙理伊達家雛人形見学の様子

## 5 教育・普及

### 〔1〕 講座等

#### 1. 夏休み子ども講座「作ってみよう」

夏休みに、郷土資料などを活用して亙理の歴史・文化を理解するとともに、もの作りの体験をとおして先人の知恵に触れて考える機会を作り、他校児童との交流をとおして仲間作りを進めることを目的とした講座を、町内小学校児童を対象に行った。受講生の募集については、7月に小学校をとおして募集チラシを配付した。

#### 学習テーマ「勾玉を作ってみよう」

日時 8月23日(土) 午前10時～12時  
午後1時30分～3時30分

会場 郷土資料館 学習室

参加者 21人(午前13人、午後8人)

材料費 100円

内容 亙理町に数多く存在する横穴墓、およびそこから出土した刀や勾玉などの副葬品について学び、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。



勾玉作り体験の様子

#### 2. 年中行事講座「おひなさまを作ろう」

家庭で行われる年中行事にはそれぞれ意味があることをひなまつりを事例に伝え、年中行事に関わるもの作りをとおして、親子・家族のふれあいの機会を増やすとともに、年中行事及び地域文化への関心を高める機会として行った。

日時 平成27年2月21日(土)  
午前10時～午後0時20分

場所 郷土資料館 学習室、常設展示室、企画展示室

参加者 一般35人(親子1組)

講師 武田恵美

内容 ひなまつりについて学び、ちりめんでお手玉雛を製作した。製作後、常設展示室において亙理伊達家雛人形の解説を聞きながら見学した。



おひなさま作りの様子

### 3. 「ものしり大学院」

平成15年度に開始したこの事業は毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

今年度は、町制施行60周年、郷土資料館開館20周年を記念して郷土資料館の根幹ともなっている「亙理伊達家」について取り上げ、亙理と亙理伊達家の関わりについて改めて考えてみた。

講座回数は1回とし、形式は講師3名による調査報告及び亙理伊達家中二階堂家の文書解読にあたった北海道伊達市古文書サークル「いろはの会」代表の田村一彦氏のコメント後、聴講者の質疑に答える形で行った。

「亙理伊達家文書の世界 ―亙理伊達家家臣団文書調査報告会―」

日 時 平成27年3月7日(土) 午後1時30分～4時30分

場 所 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)

聴講者 158人

#### ①「伊達市のアーカイブと野馬追絵図」

講師 伊達市噴火湾文化研究所 学芸員 伊達元成 氏

内容 伊達市のアーカイブの現状を踏まえて、研究会が行った「奥州相馬氏野馬追図屏風」の調査成果が報告され、史資料を組み合わせることにより新たな事実が判明することを学んだ。



報告①の様子

#### ②「軍学者・羽田実賢と亙理伊達家の軍学・学問」

講師 東京都公文書館 専門員 工藤航平 氏

内容 伊達市の大雄寺が所蔵する亙理伊達家中の羽田家に関する由緒・家格、当主家との関係を証明する文書類の調査成果が報告され、軍学者羽田実賢と大名家における軍学の意味などについて学んだ。



報告②の様子

#### ③「村木孝英の近世・近代―近代社会のなかの亙理伊達家中」

講師 国文学研究資料館 プロジェクト研究員

三野行徳 氏

内容 伊達市の大雄寺が所蔵する亙理伊達家中の村木家文書の調査成果が報告され、明治維新が亙理伊達家とその家中にもたらしたものや、それぞれがとった「家」を残すための戦略について学んだ。



報告③の様子



#### 4. 体験会「ちょこっと体験」

「どこでもパスポート」の利用促進を図るため、夏休み期間中展示室内に体験コーナーを設置した。

期 間 平成26年7月19日(土)～8月24日(日)

場 所 常設展示室

内 容 ・考古コーナー：縄目の文様づけと縄文土器や須恵器などに触る

・亙理伊達家コーナー：成実木像や家紋のぬりえを楽しむ、成実や家紋の切絵に挑戦する

・民俗コーナー：帳場に座る、ヒトリヌリに乗る、蛇腹・麦つぶし機・糸より機を回す

・情報検索コーナー：文化財パズルに挑戦する



「ヒトリヌリに乗る」の様子

#### 〔2〕 学社融合推進事業「移動しりょうかん」

この事業は平成12年度から行っている。おもに小学生を対象として、社会科や総合学習の中で資料館の収蔵資料をとおして身近な亙理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料に触れ、使用する体験によって、より一層の学習効果をあげながら収蔵資料の有効活用を図っている。

「出前講座」「学芸員の派遣」「収蔵資料の貸出」の三つを柱とする移動しりょうかんに加え、学校の空き教室に各学校の地域性や学校の要望を取り入れた展示室を設置し、随時学習に合わせ、見て、触れられる「学校ミュージアム」を設置した。

##### 1. 出前講座「しりょうかん出前学習」

『昔のくらしと遊び』

実施校：5校（9クラス）

参加人数：264人



逢隈小学校の様子

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内 容
逢隈小学校 3年生 (3クラス)	1/22 (木)	9:30～ 12:15	家庭科室 廊下	90人	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験する道具の説明。</li> <li>「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板での洗濯」をグループ毎に体験した。</li> <li>蓄音器とランプの紹介</li> </ul>

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
亙理小学校 3年生 (3クラス)	1/27 (火)	9:00～ 11:45	常設展示室 学習室	112人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に展示室の見学と実物資料を使った体験を行った。</li> <li>・展示室見学では民俗コーナーにて亙理の民具・むかしのくらしを解説し、農業道具類、炊事道具類を紹介した。</li> <li>・体験では学習室にて炭火アイロンの体験とランプ、ろうそくの明るさを体験した。</li> </ul>
長瀬小学校 3年生 (1クラス)	2/6 (木)	9:30～ 11:25	多目的室 廊下	38人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板での洗濯」「ろうそくの点火」「臼と杵を持つてみる・石臼をさわってみる」「箱枕の使用」をグループ毎に体験した。</li> </ul>
荒浜小学校 3年生 (1クラス)	2/25 (水)	10:40～ 11:45	家庭科室 廊下	19人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「箱枕の使用、ろうそくの点火」をグループ毎に体験した。</li> <li>・蓄音器、ランプなどの資料を実物を使ってみながら説明した。</li> </ul>
高屋小学校 3年生 (1クラス)	3/3 (火)	13:35～ 14:35	図工室 廊下 体育館	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「箱枕、手燭、ろうそくの点火」「洗濯板での洗濯」を全員で順番に体験した。</li> </ul>

## 2. 「学芸員の派遣」及び「収蔵資料の貸出」

実施校：2校（7クラス）

参加人数：239人



「地域の昔を調べよう」の様子

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
逢隈小学校 4年生 (3クラス)	9/17 (水)	13:45～ 15:15	B&G海洋 センター	93人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科「亘理用水」に関する学習会の一環で「昔の農業用道具」コーナーを担当し、用水を作ったときの道具や農作業の道具などを展示した。</li> <li>・展示資料―土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、天秤棒、土しよい箱)、農作業の道具(犁、足踏み脱穀機)。</li> <li>・各コーナーを回って学習する児童に対して、写真パネルを用いながら昔の米づくりと展示資料の説明を行った後、自由に資料に触れさせ機械化以前の労苦を推察させた。</li> </ul>
吉田小学校 4年生 (1クラス)	10/22 (水)	9:30～ 11:30	学級教室 周辺の遺跡	24人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習「地域の昔を調べよう」における地域にある遺跡などについての調べ学習に関して、吉田小学校周辺の遺跡についての講話と見学案内を行った。</li> </ul>
亘理小学校 4年生 (3クラス)	11/21 (金)	10:00～ 12:00	体育館	122人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科「亘理用水」に関する学習会の一環で「昔の農業用道具」コーナーを担当し、用水を作ったときの道具や農作業の道具などを展示した。</li> <li>・展示資料―土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、天秤棒、土しよい箱)、農作業の道具(犁、足踏み脱穀機)。</li> <li>・各コーナーを回って学習する児童に対して、写真パネルを用いながら昔の米づくりと展示資料の説明を行った後、自由に資料に触れさせ機械化以前の労苦を推察させた。</li> </ul>

### 3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

- ◆逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続
- ◆荒浜小学校：民俗資料室9月1日再開

### 〔3〕 こども祭り「Go・Go 悠里館まつり」

5月5日・こどもの日に、郷土資料館・図書館の開館10周年を記念して平成15年度から開催してきた「ホップ・ステップ悠里館フェスタ」を、平成18年度からは名称や内容を変更し、“見て体験して、楽しむ参加型”のイベントとして、8回目を数えた。

日 時 平成26年5月5日(月) 午前9時30分～午後3時30分

場 所 悠里館（正面玄関前入口、1階エントランスホール・学習室、2階南側出入口・図書館会議室、3階視聴覚ホール）

主 催 亶理町立郷土資料館・亶理町立図書館

来館者数 1,000人

内 容

#### “開催セレモニー”

スタッフ、町の観光PR係長「わたりん」、ケヤッキーが来館者に案内チラシを配布した。

#### “楽のコーナー”

- ・3階視聴覚ホールにおいて、ガリレオ工房の土井美香子氏ほかによる「くうき」をテーマとした「理科読—おもしろ実験ショー」を行った。
- ・1階エントランスホールにおいては、プロのマジシャン「SHINYA」による「おどろきマジックショー」を2回行った。
- ・1階エントランスホールではさらに、「仙台ジャグボーイズ」によるジャグリング及びバルーンアートを2回行った。

#### “遊のコーナー”

- ・1階学習室において、米山明則氏ほか5名とジュニアリーダー及び職員の指導により「木のクラフト作り」として、竹製トング、小枝のお地蔵さんを作った。
- ・2階図書館会議室においては、老人クラブ会員の指導により、「昔の遊び—お手玉、あやとり、的当て、こま回し」や「亶理のいろはかるた」も行った。

#### “昔なつかしコーナー”

- ・2階南側出入口において、図書館ボランティア、ジュニアリーダー及び職員による駄菓子屋を開店した。

ボランティア協力団体・協力者

亶理町老人クラブ連合会(10名)、ジュニアリーダー「たんぽぽ」(7名)、米山明則氏ほか5名、図書館ボランティア3名



理科読—おもしろ実験ショーの様子



昔の遊び体験の様子



おどろきマジックショーの様子

#### 〔4〕 「オープンミュージアム」

亙理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、常設展示室と企画展示室を無料開放し、昔の道具を体験するコーナーを設けたほか企画展示に関連した催しを行っている。また、平成23年度からは「東北文化の日」推進事業の一環として実施している。

日 時 平成26年11月3日(月) 午前9時～午後4時30分  
場 所 郷土資料館(常設展示室、エントランスホール、学習室)  
観覧者数 278人(一般218人、小中学生60人)  
内 容

##### “郷土芸能演舞会”

1階エントランスホールにおいて、亙理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亙理枅取り舞」がそれぞれの保存会によって披露された。牛袋法印神楽は全12幕のうち「弓八幡舞」、「扇舞」、亙理枅取り舞は全10番まで演じられ、その後、開館20周年を記念した紅白餅まきを行った。また、同じく町の指定無形民俗文化財の「亙理獅子舞」の獅子装束を常設展示室に展示した。



郷土芸能演舞会の様子

##### “亙理いろはかるた会”

一般の方々から参加者を募り、3人1組のチーム対抗戦及び個人戦を行った。1試合30分の時間内の取り札数を競い、参加賞のほかチーム戦の優勝・準優勝チーム、個人戦の優勝・準優勝者には商品を授与した。



亙理いろはかるた会の様子

##### “展示体験コーナー”

常設展示室内に各種体験コーナー(土器にさわろう、切り紙に挑戦しよう、塗り絵に挑戦しよう、など)を設置した。また「真剣を持ってみよう」の体験を2回行った。

##### “記念品プレゼント”

観覧者先着100組にマグネットシートとクリアファイルをプレゼントした。

#### 〔5〕 学校教育関連

##### 1. 文化財めぐり

町教育委員会が文化財保護意識の高揚を図るために実施した文化財めぐりのコースの一環として、小学6年生(10クラス324人)と教職員16人が資料館職員の解説を聞きながら常設展を見学した。



学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亘理小学校	3	117	6月5日、6日、11日、
荒浜小学校	1	32	5月8日
吉田小学校	1	26	5月28日
長瀬小学校	1	37	5月15日、
逢隈小学校	3	110	5月9日、14日、16日
高屋小学校	1	18	5月29日

## 2. 社会見学等

遠足や教育課程に基づく学習活動の一環として、小学校児童が常設展や企画展などの見学や収蔵資料の使用体験、中学校生徒が調べもの学習のため来館した。

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
6.13	新地町立新地小学校	38	教育課程に基づく学習
9.11	伊達市立東小学校	20	体験活動の一環で見学
10.22	山元町立坂元小学校2年生	17	生活科の一環で見学学習
10.30	亘理町立吉田中学校1年生	13	総合的な学習「亘理町を知る」の一環で調べ学習
2.7	亘理町立亘理小学校3年生	122	社会科の一環で見学・体験学習
3.19	白石市立東中学校	7	校外学習

## 〔6〕 刊行物等

### 『郷土しりょうかん』第116号～第121号

広報紙としてA4判4ページ（A3判二つ折）を偶数月に発行。

## 〔7〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月19日(火)～26日(火)の6日間  
(24日、25日を除く)

実 習 生 東北学院大学文学部3年生1人  
宮城学院女子大学学芸学部3年生1人

実習内容 第1日：ガイダンス、施設の概要説明、施設見学、  
庶務管理及び資料館の運営について、  
考古学について(講話・作業)

第2日：資料の収集及び保管について(講話・作業)

第3日：展示の実際(作業)

第4日：教育普及活動の実際(講話・作業)、展示の実際(作業)



資料クリーニングの様子

第5日：教育普及活動の実際(夏休み子ども講座の運営)

第6日：資料の取扱いについて(講話・作業)、文化財について(講話・見学)、実習のまとめ

## [8] その他

### 1. 講師派遣

◆亙理郷土史研究会「郷土史研究会地区懇談会」

5月20日(火) 亙理町中央公民館 視聴覚室

講師：主幹 菅野 達雄

「亙理の歴史と文化を知ろう」の講話

◆おおくま歩け歩け大会

9月14日(日) 亀甲松公園、三十三間堂官衙遺跡、阿武隈川河川敷花畑

講師：主幹 菅野 達雄

コース内の遺跡・史跡の現地説明

◆柴田町槻木婦人会「研修視察会」

9月19日(金) 大雄寺

講師：副班長 鈴木 朋子

現地説明

◆武家文書シンポジウム「海を渡った武士たち—移住者の記録から地域を考える—」

10月18日(土) 伊達市カルチャーセンター視聴覚室・集会室2

講師：主幹 菅野 達雄

亙理町についての発表とパネルディスカッション

◆ユネスコカレッジ講座「仙台の古代遺跡散策と仙南の亙理・角田・白石の古代ろまんを研修」

10月23日(木) 亙理町立郷土資料館、三十三間堂官衙遺跡

講師：班長 鈴木 朋之

研修地の見学案内

◆亙理町逢隈公民館事業「私の住む町どんな町」

12月25日(木) 鹿島天足和気神社、竹の花横穴墓、ヲフロ遺跡、椿貝塚、石間神社、  
三十三間堂官衙遺跡

講師：副班長 鈴木 朋子

移動研修「史跡めぐり」の現地説明

### 2. 視察研修等の受入れ

◆角田市教育委員会生涯学習課文化財保護係福應寺毘沙門堂絵馬保存プロジェクト委員会委員の視察

7月13日(日) 15人

◆WATARIS スキルアップのための研修

8月22日(金) 19人

◆琴似屯田子孫会 表敬訪問に伴う見学、視察

10月21日(火) 4人

◆WATARIS アメリカ人留学生被災地見学会

11月11日(火) 9人

◆「みんなでまもるミュージアム」事業にかかる施設見学

11月25日(土) 23人

◆徳島県立徳島科学技術高等学校施設視察

12月12日(金) 31人

## 6 資料の収集・保管

### [1] 収蔵資料

#### 1. 資料内訳

資料点数の( )内の数字は平成26年度新規収蔵資料

(1) 考古資料 115点

常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 4,116(131)品目 10,726(471)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料：1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～26年度)の収蔵資料：3,086品目 8,944点

≪平成6～26年度収蔵資料分類内訳≫

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,098	7 民俗知識	1,203	12 亙理伊達家・家中	130
2 生産・生業	819	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	285
3 交通・運輸・通信	282	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,331	14 文書・書籍・地図	743
4 交易	1,586	9 人の一生	62	15 美術	697
5 社会生活	419	10 年中行事	130	16 その他	59
6 信仰	89	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 534(1)品目 1,123(1)点

写真：481(1)品目813(1)点 映像・音声：14品目268点 絵・図：39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

#### 2. 寄贈資料

15人(団体) 55品目 336点

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	伊藤 富敏	亙理町(十文字村)	陣羽織 ほか	12	37
2	梅津 恵一	仙台市	武田酒造記念写真(複写)	1	1
3	菊地 一雄	亙理町(鷺屋)	修業証書 ほか	6	19
4	鈴木 光範	亙理町(柴町)	「亙理の方言集 “んだいっちゃ”」	1	1
5	佐藤 善二	亙理町(下郡)	スケート靴 ほか	2	7

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
6	清野はつの	亶理町(駅前西)	電動餅つき機 ほか	6	11
7	武田浩	亶理町(下郡)	古文書	1	1式
8	荻田耕造	岩手県奥州市	「奥州 岩谷堂城」 ほか	2	3
9	保科則夫	亶理町(南町北)	学習雑誌 ほか	13	159
10	森喜一	亶理町(柴町)	應召遺族繪葉書	1	1
11	個人	—————	総生糸 ほか	5	32
12	旧四丁目・五丁目区	亶理町	荒浜救難所警鐘	1	1
13	長瀬浜青麻講	亶理町(大橋)	青麻講お掛図	1	1
14	館南上区	亶理町(館南上)	亶理獅子舞道具	2	61
15	亶理町立図書館	亶理町	亶理町立図書館和漢古書目録	1	1

## 〔2〕 寄託資料

『亶理忠儀記』（亶理町指定文化財） 上町 菊地家 所蔵  
 伊達政宗書状（伊達宗実あて）ほか 2点 武田斐子氏 所蔵  
 額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点 岡元継男氏 所蔵

## 〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5. 7. 18～	亶理伊達家コーナー展示、調査研究
2	武者家勤功書上 ほか	荒浜 武者家	9	H6. 10. 5～	歴史：近世コーナー展示
3	船鑑札、漁業鑑札	荒浜 島田家	2	H6. 10. 8～	民俗：水辺のくらしコーナー展示

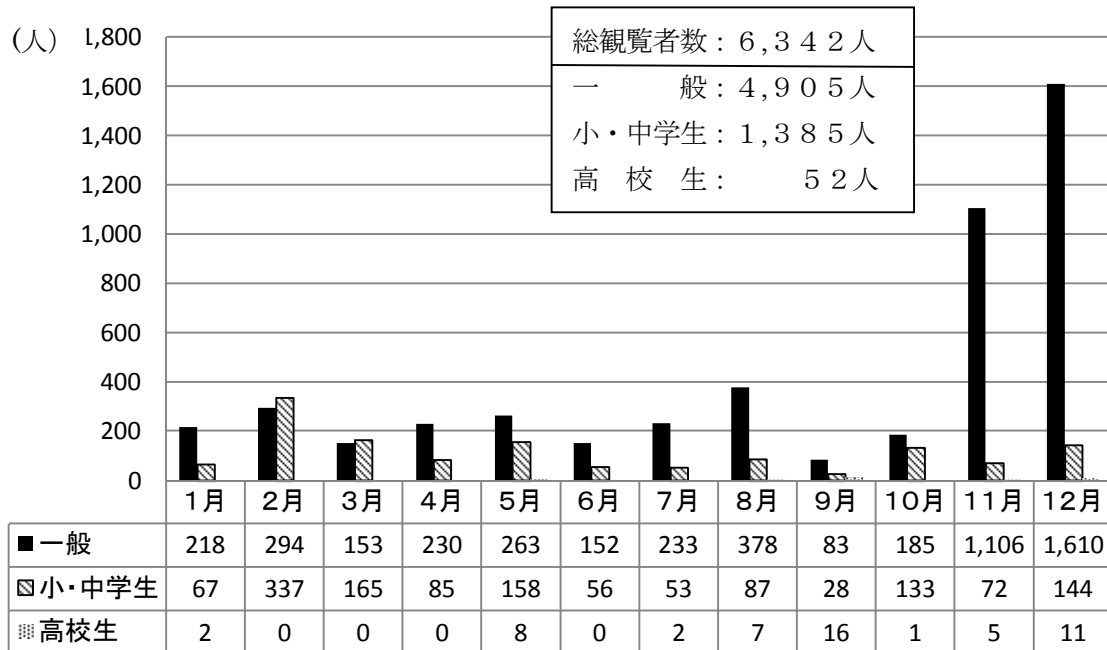
## 〔4〕 資料の貸出

5件29点

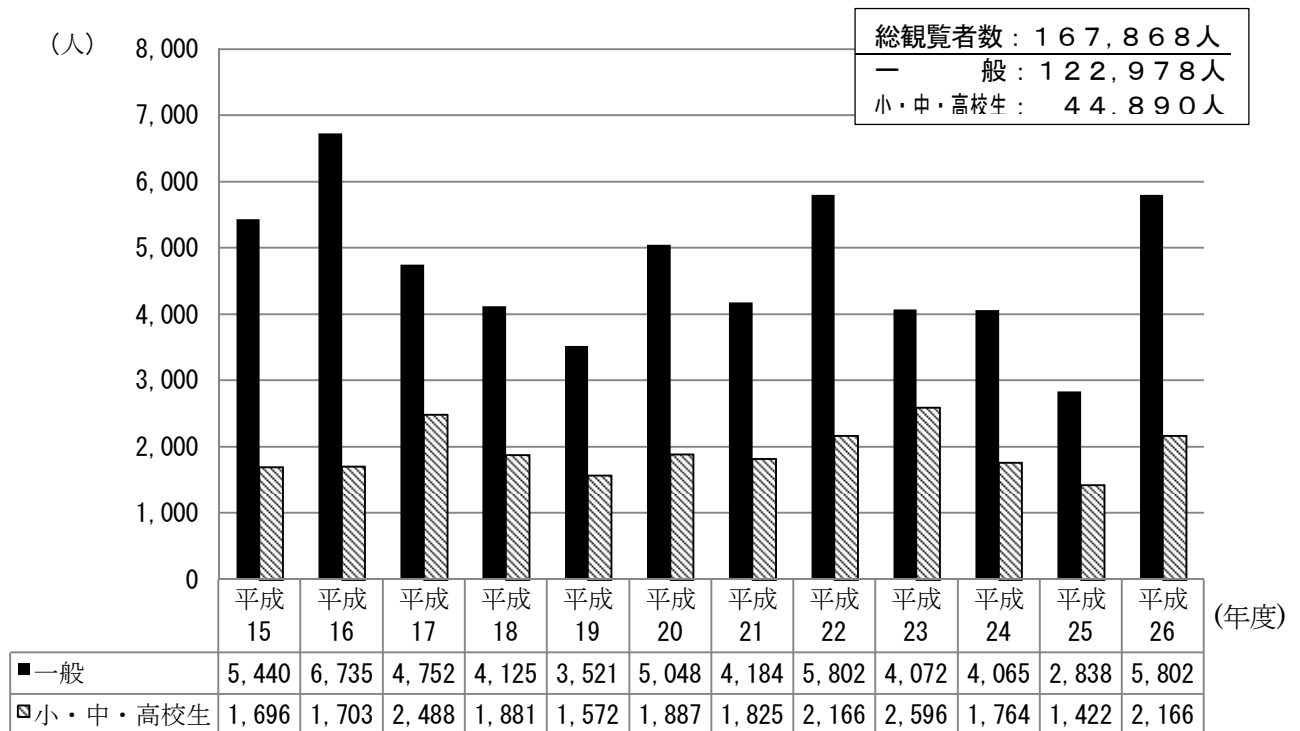
No.	貸出先	目的	資料名	期間
1	東北歴史博物館	特別展展示のため	トースター ほか10点	6. 2～10. 19
2	亶理中学校	展示のため	白黒テレビ ほか8点	9. 10～ 9. 18
3	長瀬小学校	学習発表会のため	蓑 2点	10. 1～10. 14
4	亶理保育所	脱穀のため	足踏み脱穀機	10. 7～10. 8
5	亶理地区まちづくり協議会	展示のため	亶理獅子舞装束獅子頭 ほか5点	11. 15～11. 16

## 7 観覧者数の推移

### 〔1〕 平成26年度月別観覧者数



### 〔2〕 年度別観覧者数





## 8 予 算

### 郷土資料館費

予算額 6,030,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

## 9 職 員 名 簿

【平成26年4月1日～平成27年3月31日】

職 名	氏 名	就 任 期 間	備 考
館 長	岡 元 比呂美	H25. 4. 1 ~ H27. 3. 31	町立図書館長兼務
文化財班長	鈴 木 朋 之	H24. 5. 1 ~ H27. 3. 31	
主 幹	菅 野 達 雄	H 6. 4. 1 ~ H27. 3. 31	副班長兼務・学芸員
副 班 長	鈴 木 朋 子	H18. 10. 1 ~ H27. 3. 31	学芸員
主 査	武 田 恵 美	H24. 4. 1 ~ H27. 3. 31	学芸員

## 10 利 用 案 内

### 〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

### 〔2〕 休 館 日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日（5月5日、11月3日を除く）
- ・館内整理日（毎月最終金曜日）
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

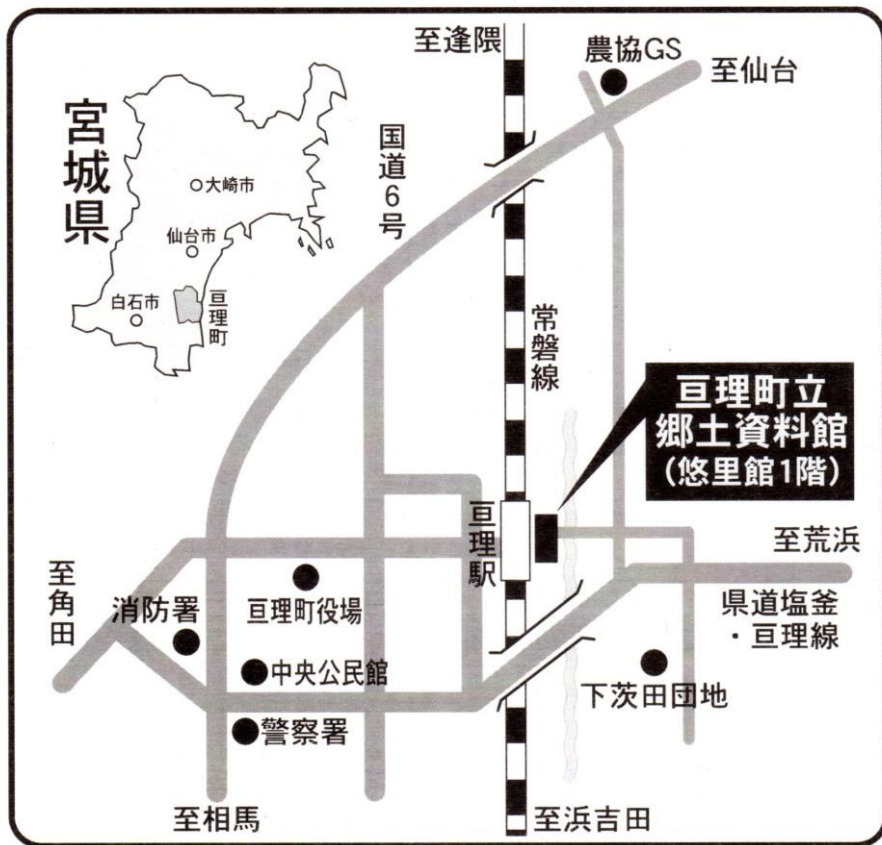
### 〔3〕 観 覧 料

- ・常設展示 一般200円(150円)／高校生100円(70円)／小中学生50円(30円)  
※ ( ) 内は団体20人以上の場合
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

### 〔4〕 無料開放日

- ・5月5日（こどもの日）
- ・11月3日（文化の日）
- ・3月3日（ひなまつり・休館日の場合は前日）
- ・仙南地域・石巻・大崎・気仙沼本吉地域広域圏内の小中学生は、毎週土曜日・日曜日・春休み・夏休み・冬休みの期間中無料。
- ・仙台都市圏内の小中学生は通年無料。

[5] 位置図



---

亘理町立郷土資料館年報 第17号  
平成26年度

---

平成27年7月発行

編集・発行 亘理町立郷土資料館  
〒989-2351 宮城県亘理郡亘理町字西郷140番地  
TEL(0223)34-8701  
FAX(0223)34-8709  
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp

---

